



表紙のことは  
大学受験のために18歳で熊本を出て、気がついてみると今年で25年が経っていました。しかし、東京での生活が熊本での日々よりも長くなってしまった今も、年々故郷(熊本)への思いは強くなってきています。実は私の絵の世界の故郷もまた熊本なのです。阿蘇高原・不知火海・黒石原・江津湖……少年時代に過ごした熊本の野山、その空、大気、光が私の全ての絵にこめられているのを、熊本の皆様知ってもらえたら幸いです。

●シーン'88撮影  
長野良市  
県下最古の建築物(13世紀初め建立)である城泉寺阿弥陀堂(湯前町)。木の肌ざわりが緑に美しく調和していました。

## 編集後記

■ 自然のなかを散策したり景色を楽しんだり、自分の時間をのんびり気ままに過ごす、ペンションをそんな風利用する人が増えているそうです。何をするか目的ではなく、訪れた土地を満喫する。余暇の過ごし方にも、心のゆとりが欲しいものです。

■ これまで漠然と見てきた、まちなみや広告物ですが、第二空港線と東バイパスを比べてみると車で走った時の快適さの度合は言わずもがな。少し気をつけてみると改善の余地は沢山ありそうです。みんなで、素敵な熊本のまちなみを作りましょう。

## 「くまもとの風」愛読者募集

本誌の年間購読を希望される方は、1年分の郵送料1,500円(250円×6回)分の切手を同封のうえ、下記へお申し込み下さい。  
(随時受け付けます)

〒862 熊本市水前寺6丁目18番1号  
熊本県広報課「くまもとの風」係  
☎096-382-9780

## CONTENTS

1-2	風のコンパス
3-6	特集 一帯一帯
7-8	ぴーぷる～坂口慶典さん～
9-10	ステップ・アップKUMAMOTO ～TAP'89 第1回観光立県推進地方会議～
11-12	ふるさと紀行～高森町～
13-14	シーン'89
15-16	ママさんレポート～文化振興基金事業～
17-18	30minutes トーキング～飯島憲一郎さん～
19-20	ウォッチング元気図鑑 ～菊池VS天草～
21-22	HISTORY OF 熊本人～高群彦枝～
23-24	INFORMATION
25-26	街角便り 他

## 毎朝ラジオ



### 「県庁ダイアリー」

毎週月曜日-金曜日  
7:30▶7:36

● 軽快なミュージックに乗せて、いろいろな情報をお伝えします。キャスターは、伊井純子さん。



### 「ふれあいくまもと」

毎週月曜日-土曜日  
7:40▶7:45

● 県からのお知らせを、わかりやすく直接担当がお伝えすることを心がけています。また、県内各地の行事や話題も追いかけています。キャスターは、西谷裕子さん。

## 週末テレビ



### 「フラッシュくまもと」

毎週土曜日  
12:55▶13:00

● 県内での出来事を、身近な情報として皆様に提供していきます。レポーターは、勝田麻吏江さん。



### 「くまもとの風」

毎週土曜日  
18:15▶18:20

● 本誌のテレビ版。毎週テーマをひとつずつ取り上げ、切り口を変えてお届けします。レポーターは、小幡まさこさん。



### RKKテレビは県政特別番組!

じっくり御覧いただく30分もの(6本)。ON AIRに向けただいま制作中。



姜信子の韓国通信



生身の人と人が出会い、素顔のつきあいをすることから国際交流は始まるものだと思います。というわけで、韓国の人々の生活、表情、息づかい、私が日常の中で体験した韓国の様々な「普通」を、熊本の皆様に届けていくつもりです。どうぞよろしく。

■姜信子さん  
フリーライター。昭和60年東大法卒。ノンフィクション「ごく普通の在日韓国人」で朝日ジャーナル賞受賞。コピーライターとして参加した熊本県観光ポスターが、全国自治体観光ポスターコンテストで最優秀賞受賞。新聞にエッセイ連載の他、多方面で活躍。

●次号から連載開始。お楽しみに。



街角便り



### 「日韓友好熊本少年の船」 山口久臣 (33才/熊本市)

「くまもとの風」いつも楽しく読んでおります。今回は、ちょっと「宣伝」をしていただきたくペンを取りました。「くまもと国際青年年をすすめる会」では今年も「日韓友好熊本少年の船」を主催いたします。第4回です。8月1日から5日間釜山・蔚山・慶州の三市を訪ね、ホームステイ・韓国少年少女との交流を行います。募集対象は小学五・六年生と中学生の計220人です。7月8日まで受け付けています。

読者のみなさん!お子様のたくましい心と体と国際性を育てる為に、ぜひお申し込み下さい。

お問い合わせ  
〒860 熊本市西唐人町16  
096(325)4225  
くまもと国際青年年をすすめる会事務局

### 「散歩」

S.E.(アオ/熊本市)

木々の緑もさきざえと、風も薄い緑の色をつけて吹き始めました。楠の多い熊本はこの季節、とても美しく感じられます。夏までのこの短い時を過ごすために「散歩」をする楽しみを見つけました。車に乗ってしまったら感じられない風もごく自然に流れ、今まで目をとめることもなかった小さな花を発見したりします。街の中も少しずつ美しくなって、熊本城のまわり、白川沿い、立田自然公園など「散歩」にふさわしい場所が増えてきました。最近では、双眼鏡と野の花図鑑という「散歩」グッズを携帯して、また違った楽しみ方を知りました。自然を家の中に取り込むのが得意な日本人ですが、外に出て自分流の自然との交流をつくっていかれたらいいと思います。さあ、自分の散歩グッズを持って出かけましょう。

### 「マラソン」

松岡ゆかり(アオ/松橋町)

近頃私はジョギングに凝っています。小川町のコスモスマラソンやRKK女子駅伝などいろいろ参加しましたが、先日出場した、「御立岬ジョギングの集い」は今までの中でも最高でした。ポカポカした春日和。一方に八代海、一方にみかん畑、そして桜ふぶきの中を走って行くのです。遠くには薄くかすみ浮かぶ天草の島々が見えました。海もキラキラ光ってました。それに沿道の歓声もさながら、海からの応援も私達を元気づけてくれました。鯉のぼりをはためかせた舟が何隻も先導してくれるのです。思いっきり体を動かし青春できた一日。来年はより多くの人とお会い出来るのを楽しみにしています。

### 「アメリカおっかな出産記」

田中蓉子(29才/主婦/熊本市)

「ハロー、ママ!」私共の長子はサンフランシスコで生まれました。妊娠していることに気付いたのは、渡米してたった2ヶ月。まだまだアメリカ社会に対して驚きと失敗を重ねていた頃です。つわりとホームシックで精神的に参ってしまった事。食文化の違いで食べたい物が手に入らなかった事。言葉の不自由さから常に不安がつきまわった事等々。

でも、ベビー・シャワーという出産前パーティーや日本から送って頂いたプレゼントがどんなに二人を力づけてくれたことでしょうか。いよいよ出産という時には母が応援にかけつけ、主人は立ち合って通訳に大活躍。お蔭で、弱虫の私もなんとかママになることができました。子供は両方の国籍を持つことになり、将来熊本とアメリカの掛け橋となってくれることを願っています。



みなさんの身近な情報(出来事・季節の変化・風景・感想など)を二百～四百字程度にまとめてお送りください。  
(採用された方には「風テレホンカード」をプレゼント)

●あて先  
〒862 熊本市水前寺6丁目18-1  
熊本県広報課「くまもとの風」係  
☎(096)382-9780

たくさんのお便りをお待ちしています。

